

共に過ごす

GOOD JOB

昨年4月に開所したGOOD JOBですが、早くも1年が経ちました。その中で昨年途中から大きく変わった出来事がありました。今まで利用者さんの仕事の中心であった、ダノンリサイクルセンターが新設工事の為に作業が一時中断になってしまったことでした。当初、利用者の方から「ダノンがない時はどこで仕事をしますの？」や給料が下がってしまうのでは、といった心配の声が多く聞かれました。その心配事にも一つ一つ説明を行い利用者の方には納得をしてきてもらいました。

今までは作業を中心に行ってきたのですが、作業・仕事が少ないからこそ余暇にも力が入れられるのではと思いい様な企画を考えていきました。その一例として、6月22日がボーリングの日ということで太田市に行き利用者の方々とボーリング大会を行いました。



そのほかには、GOOD JOB内の多目的室を使い利用者の皆さんを中心にお好み焼き、焼きそばを作り食べてもらうなどの活動も行ってきました。その際は、買い出しなどから利用者さんに行ってもらいながら今後の実生活にも活かせるような形を取りました。

また、余暇活動だけを行うのではなく、化粧品会社協力のもとに身だしなみ講習なども行ってきました。衣類を整えるだけではなく、ネクタイの縛りかたや、洗顔の仕方、女性は化粧の仕方やアフターケアなども職員と一緒に学びに行きました。また、「暮らしのルールブック」を使った学習会も行いました。その際に私自身が何かを伝えるためには一緒に学び・共有すること

が非常に大切になるのではないかと感じました。

共に知り・共に得て・共に繋げるこれこそがGOOD JOBの基本理念にある「知る・得る・つなげる」になるのだと思えました。

ダノンのリサイクルセンターが止まっていた間も皆さんの仕事は続いていました。リサイクルセンターを中心に作業を行っていた利用者さんは、館林厚生病院周辺の清掃やつなぎごなどの清掃、館林駅西口周辺の清掃なども行ってもらっていました。その際に、地域の方から「頑張ってるね」などの励みの言葉をもらえることも皆さんの意識が高まる瞬間でもあり、職員としても障がいのある方をもっと知ってもらわなければと強く思

いました。
ダノンリサイクルセンター再開の目途も立ち利用者さんたちも期待と不安の気持ちでいっぱいだと思いますが、これからも利用者さんと大変なことや楽しいことなどを様々なことを共有していけたらと思います。



職業指導員

勤続11年 笹崎拓未